

② 調査研究等に関する実績書

通し番号

ア 著書業績一覧

応募者氏名 栃木野 未来

執筆分類	書	頁数 (執筆頁)	出版社名	刊行年月日	提出業績
☐ 単著 ☐ 共著 ☒ 博士学位論文	『○○○○の諸問題』	○○○頁	株式会社○○社	平成 26 年 (2013) 年 3 月 31 日	○
☐ 単著 ☒ 共著 ☐ 博士学位論文	『○○○の研究』 「第 2 章 ○○○○と○○」 「第 4 章 ○○○○と○○」 「第 8 章 ○○○○と○○」	総頁数○○頁 ○○～○○頁 ○○～○○頁 ○○～○○頁	株式会社○文館	平成 30 年 (2018) 年 7 月 31 日	○
☐ 単著 ☐ 共著 ☐ 博士学位論文					
☐ 単著 ☐ 共著 ☐ 博士学位論文					
☐ 単著 ☐ 共著 ☐ 博士学位論文					
☐ 単著 ☐ 共著 ☐ 博士学位論文					

※ 共著は監修など主体的に企画段階から関わったもの、若しくは、一冊の本のうち、構成上複数の担当章、または、単数章の担当でも構成上 1/3 以上を割り振られ執筆したものをとし、一冊の本のうち、一編が収録されている場合は「イ 論文等業績一覧」に記載。

どちらかにチェック

イ 論文等業績一覧

応募者氏名 栃木野 未来

刊行年月	査読有無	題 名	内 容	発行機関	提出業績
令和 4 年 3 月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	単著／「〇〇〇と〇〇〇」-〇〇〇〇 の〇〇〇-『紀要 第 00 号』 pp.00-00	〇〇〇〇遺跡から出土した〇〇〇の出土状況を分析し、周辺地域の類例と検討した結果、本来の使用方法に加え、〇〇の自然現象が多発する地域特性に対応した使用特性が加わる可能性を考察した。	〇〇県埋蔵文化財センター	
令和 2 年 3 月	☒ 査読論文 ☐ 一般論文	単著／「古代〇〇〇と〇〇について」『日本考古学』 pp.00-00	これまで行われていなかった〇〇についての分布論や型式分類、編年を行い、〇〇が関与することで成立し、〇〇における〇〇に重要な役割を明らかにした。	一般社団法人日本考古学協会	○
平成 30 年 3 月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	共著／「古墳時代の〇〇研究と現状の課題」『〇〇の考古学』 pp.00-00	〇〇をテーマとした総合的な視点から〇〇研究の現状を考える企画で、〇〇について分担執筆した。これまで主流であった〇〇の考え方が〇〇とする傾向にある過渡期であることを指摘した。	〇〇先生〇〇記念論集 刊行会／株式会社〇〇	
平成 28 年 3 月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	単著／「古墳時代〇〇〇の総攬」-〇〇〇〇の出土から-『紀要 第 0 号』 pp.00-00	関東地方の〇〇〇を集成し、時期的分布と細部にわたる型式分類を行い、関東地方の傾向を明らかにし、畿内との位置づけに言及した。	〇〇県埋蔵文化財センター	
平成 25 年 3 月	☐ 査読論文 ☒ 一般論文	単著／「古代〇〇〇遺跡を例として-『〇〇大学大学院研究紀要 00』 pp.00-00	〇〇〇〇遺跡から出土した〇〇〇の出土状況分析し、〇〇〇〇周辺地域の類例と検討した結果、本来の使用方法を考察した。	〇〇大学大学院	

※ 分担執筆の場合、分担項目を抽出して記載してください。

通し番号

ウ 主な発掘調査・整理業績一覧

応募者氏名

区分	期 間	場所・遺跡名（時代）	実施時の所属機関及び職名	主な担当業務	遺跡の特徴
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 20 年 4 月 ～ 平成 23 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ アルバイト	遺構掘り下げ・図面作 成・土層注記	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土
☐ 発掘調査 ☒ 整 理	平成 23 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ 臨時調査員	遺物実測・トレース	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (縄文～古墳)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター／調査員（有期職 員）	現場運営関係書類作 成・労務管理・現場運 営・実測・写真撮影	調査面積約 0,000 m ² 。道路拡張調査。 竪穴建物跡 00 軒の集落跡。落とし穴 多数。古墳 1 基。
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 26 年 4 月 ～ 平成 27 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇A遺跡 (古墳～奈良・平安)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター／調査員（有期職 員）	現場運営関係書類作 成・労務管理・現場運 営・実測・写真撮影	調査面積約 0,000 m ² 。歩道拡張調査。 竪穴建物跡 00 軒の集落跡。鉄製紡錘 車出土。
☐ 発掘調査 ☒ 整 理	平成 28 年 4 月 ～ 平成 29 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇A遺跡 (古墳～奈良・平安)	(公財)〇〇〇〇埋蔵文化財 センター／調査員（有期職 員）	契約事務書類作成・労 務管理・実測・トレ ース・原稿執筆	調査面積約 0,000 m ² 。歩道拡張調査。 竪穴建物跡 00 軒の集落跡。鉄製紡錘 車出土。
☒ 発掘調査 ☐ 整 理	平成 20 年 4 月 ～ 平成 23 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ アルバイト	遺構掘り下げ・図面作 成・土層注記	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土
☐ 発掘調査 ☒ 整 理	平成 23 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月	〇〇県〇〇市・〇〇遺跡 (奈良・平安)	〇〇県〇〇考古学研究所／ 臨時調査員	遺物実測・トレース	官衙に近接する集落跡 掘立柱建物集中区あり。墨書土器・瓦 等出土

用紙が足りないときはコピーして
頁を追加

エ 主な報告書等執筆業績一覧

応募者氏名 栃木野 未来

刊行年月	題 名	執 筆 部 分	発行機関
令和 5 年 3 月	担当／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	000 頁／第 6 章「調査成果」 pp.00-00	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
令和 2 年 3 月	担当／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	000 頁／第 5 章「考察」 pp.00-00 担当としてすべてを編集・執筆した場合は、総頁数／考察にあたる章の頁を記載	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
令和元年 3 月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分／第 1 章「調査に至る経緯」 pp.00-00、第 3 章「遺構」 pp.00-00、第 4 章「遺物」 pp.00-00、第 6 章「調査成果」 pp.00-00	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成 30 年 3 月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集 担当・分担執筆の別／『報告書名』、シリーズ番号の順に記載	執筆部分／第 1 章「調査に至る経緯」 pp.00-00、第 3 章「遺構」 pp.00-00、第 4 章「遺物」 pp.00-00、第 6 章「調査成果」 pp.00-00	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成 28 年 3 月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分／第 3 章「遺構」 pp.00-00 分担執筆の場合は「執筆部分／」と明示し、担当章名、担当頁を記載	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター
平成 26 年 3 月	分担執筆／『〇〇遺跡』〇〇県埋蔵文化財調査報告書第〇集	執筆部分／第 1 章「調査に至る経緯」 pp.00-00、第 2 章「歴史的環境」 pp.00-00 用紙が足りないときはコピーして頁を追加	〇〇県教育委員会／ (公財) 〇〇〇〇埋蔵文化財センター

※ 分担執筆の場合、分担項目を抽出して記載してください。

業績がない場合は、題名欄に「該当なし」と記載

オ その他の執筆業績一覧（資料紹介・書評・印刷刊行されたもの）

氏名

栃木野 未来

刊行年月	題 名	内 容	発行機関
令和 2 年 3 月	発表資料／「〇〇認定のプロセス」ー の視点からー『〇〇フォーラム 〇〇 と〇〇のかかわり』資料集	〇〇を〇〇と認定するに必要な定義・諸条件を明確にし、これまで〇 〇とされてきた認定例を検証し、その是非について論じた。また、〇 〇の集成を行った。	〇〇フォーラム 〇〇〇 実行委員会
平成 28 年 3 月	書評／『〇〇〇の考古学』の紹介『〇〇考 古学』 pp.00-00	紹介した書籍の執筆者名／発行年／出版社名 の内容を紹介し、新知 見である〇〇について評価した。	〇〇〇考古学会
平成 24 年 3 月	資料紹介／「〇〇遺跡出土の〇〇につい て」『〇〇大学大学院研究紀要 11』 pp.00- 00	〇〇県〇〇遺跡出土〇〇〇について遺物観察を行い報告し、合わせて 周辺地域の類例の集成を行った。	〇〇大学大学院
年 月	分類／「執筆タイトル」と一副題一、『掲載雑誌もしくは 書籍名』、掲載部分の頁の順に記入		
年 月			
年 月		用紙が足りないときはコピーして 頁を追加	

※ 分担執筆の場合、分担項目を抽出して記載してください。

通し番号

カ 展示等業績一覧【博物館法に定める博物館又は博物館に相当する施設における展示等業務の実務経験期間を合算する場合は提出】

応募者氏名 栃木野 未来

期 間	展示（企画展）名	実施時の所属機関及び職名	主な担当業務	展示（企画展）の概要	図録の有無
令和5年 7月 ～ 令和5年 9月	勾玉乱舞驚覧 「〇〇〇の勾玉展」	〇〇市博物館 学芸員	企画・借用・展示・図録 作成・講座・解説・広報	〇〇市出土の勾玉を全点展示し、変遷・歴史的意義を解説した。また、パネルをイラスト化し、夏休みの児童にも理解しやすいよう工夫した。	☒ 有 ☐ 無 ☐ 解説シート有
令和4年 9月 ～ 令和4年 11月	「キレイっきれの黒い石」 ー〇〇の黒曜石ー	〇〇市博物館 学芸員	企画・借用・展示・図録 作成・講座・解説・広報	〇〇市出土の黒曜石製品から、流通と製作技法から、旧石器時代から縄文時代にかけての人の流れや交流について明らかにする展示。	☒ 有 ☐ 無 ☐ 解説シート有
令和4年 4月 ～ 令和4年 6月	「古代の〇〇が伝えること」	〇〇市博物館 学芸員	企画・借用・展示・講座・ 解説・広報	〇〇市及び近接地域から出土する〇〇を取り上げ、その歴史的意義と他地域との比較による優位性から、当該地域の歴史的重要性を考える展示。	☐ 有 ☒ 無 ☒ 解説シート有
令和4年 7月 ～ 令和4年 8月	ミニ展示「速報〇〇遺跡」	〇〇市博物館 学芸員	企画・展示・広報	フロアーケースにトピックスとして前年度調査した〇〇遺跡の遺物を展示。	☐ 有 ☒ 無 ☐ 解説シート有
年 月 ～ 年 月					☐ 有 ☐ 無 ☐ 解説シート有
年 月 ～ 年 月					☐ 有 ☐ 無 ☐ 解説シート有
年 月 ～ 年 月					☐ 有 ☐ 無 ☐ 解説シート有

用紙が足りないときはコピーして
頁を追加

通し番号

キ 図録等執筆業績一覧【博物館法に定める博物館又は博物館に相当する施設における展示等業務の実務経験期間を合算する場合は提出】 応募者氏名 栃木野 未来

刊行年月	題 名	執 筆 部 分	発行機関
令和5年 7月	勾玉乱舞驚覧「〇〇〇の勾玉展」	000頁／執筆部分／構成・写真・解説等全てを担当	〇〇〇市立博物館
令和5年 9月	「キレイっきれの黒い石」 ー〇〇の黒曜石ー	000頁／執筆部分／第1章「黒曜石とは」pp.00-00、第3章「流通と消費」pp.00-00、第4章「製作技法」pp.00-00、	〇〇〇市立博物館
年 月			
年 月			
年 月			
年 月		用紙が足りないときはコピーして 頁を追加	

※ 分担執筆の場合、分担項目を抽出して記載してください。